

平成 26 年度

(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会

第 7 回理事会

日時 平成 26 年 11 月 26 日(水)

午後 2 時 30 分～午後 5 時 15 分

場所 (一社) 静岡県臨床衛生検査技師会事務所

平成 26 年度（一社）静岡県臨床衛生検査技師会 第 7 回理事会

日 時 : 平成 26 年 11 月 26 日(水) 午後 2 時 30 分～午後 5 時 15 分

場 所 : (一社)静岡県臨床衛生検査技師会事務所

出席者 : 現在役員数 20 名 (理事 18 名・監事 2 名)

三宅和秀 鈴木雅人 藺田明広 山口浩司 稲村義男 三原利仁

山田哲司 杉澤きよ美 井川千春 都築農夫志 市川千津子

川口貴子 清水憲雄 加藤智行 伊藤喜章 豊田次郎

新村喜明 梶間弘美 (書記) 渡辺時治 (監事)

(19 名/全 20 名中 うち理事 18 名/全 18 名中)

欠席者 : 榛葉智之 (監事)

議長及び議事録署名人選出

議 長 三宅和秀

議事録記名人 鈴木雅人 藺田明広 山口浩司

渡辺時治 (監事)

優先議題

1. 中部圏支部医学検査学会関連 (別冊)
2. 精度管理報告会 (P. 1)
3. 浜松減塩・低カロリープロジェクト (P. 4)
4. 検体採取、説明、講習会関連 (P. 5)

議題

1. 前回議事録確認
2. メディメッセージ報告 (P. 11)
3. 伊豆市社会福祉大会報告 (P. 20)
4. 部局報告
 - ・ 学術部 (P. 21～)
 - ・ 組織部 (P. 34～、別紙)
 - ・ 渉外広報部 (P. 35～)
 - ・ 会計部 (P. 38～)
 - ・ 事務局 (P. 41～)
5. 点数申請 (P. 48～)
6. 病院協会より (P. 52～)
7. その他

- ・ 臨床検査普及月間
- ・ 東部保健所より
- ・ 中医協より
- ・ ホームページアップ関係
- ・ 会員の異動
- ・ 予定
- ・ その他

次回理事会（平成 27 年 1 月 13 日（火） 書記：井川理事）

優先議題

1. 中部圏支部医学検査学会関連（山口副会長・藺田副会長）

別冊資料を基に掲題事項の途中経過が報告された。

- ・ 広告・協賛・ランチョンセミナー・機器展示等、賛助会員および協賛企業への後援要請のための資料を確認した。
- ・ シンポジストの推薦および部門企画の募集について、返信期限は 11 月末日である。臨床微生物部門のみ 12 月中の提出となる旨の申請があった。
- ・ 2015 年 1 月に開催する『検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会』の応募状況は、50 名枠に対し 41 名である。
- ・ 懇親会会場はグランシップに依頼中であるが案内印刷までに決定できるよう進めていく。また、演題募集案内を各県に配布する。総会の出席を増やすため、時間帯を検討しながら、プログラムを 12 月 25 日の幹部理事会（準備委員会）までにまとめていく。
- ・ 事前登録制については、運営会社との連携が必要であり複雑であるため、今回は採用しないこととする。
- ・ 学会ロゴマークを意見集約により決定した。また、学会旗を製作することについては総会等で使用することも可能なため、異論無く、静岡県旗と同じ青色で決定した。旗を掲げるポールについては、収納や移動について検討する必要があるため、次回報告する。
- ・ 抄録が提出されたら、座長依頼を割り振りし、2 月 21 日の中部圏支部幹事会までに決定する。

2. 精度管理報告会（清水理事：P. 1～）

12 月 14 日に開催する掲題の役割分担について、説明された。

- ・ 精度管理報告書は 11 月中旬に各施設に配布している。
- ・ 賛助会員の企業で勤務する技師は本人が会員でない場合は非会員扱いとする。

- ・ 会費集金の混乱を防ぐため、理事は先に受付すること。
 - ・ 受付を円滑に進めるため、参加者の流れをポールで作ること、また会場案内をホワイトボードに明示すること。セロテープ使用は禁止されているため注意。
3. 浜松減塩・低カロリープロジェクト（伊藤事務局長：P. 4～）
- 12月14日に開催する掲題の役割分担について、説明された。
- ・ 昨年同様、20名で対応する。朝の会場づくり、資料準備、SMBGのレクチャーを受けて昼食とする流れ。旅費は一律で支給することとした。
 - ・ 来場者はすでに予約でいっぱいであるとのこと。
4. 検体採取、説明、講習会関連（伊藤事務局長：P. 5～）
- ・ 検体採取等に伴う厚労省指定講習会は、日臨技が登録した会場のみ開催が許可される。中部六県では名古屋市のみであり、講習会費は一万円と決定した。
 - ・ 検体採取に関する説明は、東中西部の各支部会で日臨技横地専務理事よりいただく。P. 10の東部会場は三島市民文化会館3階に修正された。
 - ・ 2回目（2月）以降、講習会の実務委員を各県で担当するよう依頼があるが、交通費が支給されない可能性がある。交通費確保が困難であることから、厚生局のある名古屋を中心に招集する、もしくは各県開催を日臨技に申請していく。
 - ・ 臨床検査技師の検体採取が認められたことを他職種は知らないため、情報が明らかになった時点で採取依頼が来る可能性がある。ライセンスは各個人に付与され、今後は卒業とともにライセンスを取得してくる。静岡での開催を要望していくことが確認された。

議題

1. 前回議事録確認（伊藤事務局長）

第3回常務理事会議事録は完成したが、第6回理事会議事録は本日榛葉監事が欠席のため未捺印（未完成）である旨報告された。メール配信から修正はなかったので特に変更・報告事項はない。

2. メディメッセージ（三原理事：P. 11～）

10月25・26日に開催されたメディメッセージについて、当日のアンケート分析およびスタッフの意見が共有された。来場者数は約6,000名と盛大であり、臨床検査エリアもスタッフの協力により盛況であった。来年度も11月に西部地区（アクトシティ予定）で計画される予定である。

今回のまとめは技師会事務所に置く。DVDの閲覧ができなかった旨を三宅会長が協和医科器械に伝達することとした。

3. 伊豆市社会福祉大会（稲村理事：P. 20）

10月25日に掲題の大会が開催され、伊豆州市制10周年ということもあり、来場者数約500名と盛大であった旨報告された。静岡技ブースにおいても、スタッフの協力により多くの来場者に円滑に対応できた。

4. 部局報告

- ・ 学術部（菌田副会長 P21～）

- ✓ 第 64 回日本医学検査学会演題登録について（P. 21）：2015 年 5 月 16・17 日に佐賀県主催、福岡で開催される学会。演題が不足しているため、まだ募集期間としており、登録を要請されている。
- ✓ 第 64 回日本医学検査学会一般演題座長候補推薦について（P. 22～）：上記学会において 4 部門で座長が要請されていたが、各部門の協力により決定した。
- ✓ 平成 27 年度中部圏支部医学検査学会シンポジスト推薦について（P. 25）：各県に 11 月 30 日を〆切として要請している。
- ✓ 平成 27 年度中部圏支部医学検査学会における部門企画について（P. 26）：学会テーマに即した部門企画が、演者も含め 12 月 12 日までに提出される。
- ✓ 平成 26 年度日臨技、静臨技主催「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」に対する後援について（P. 27～）：研究班班長の弘島氏より、後援依頼および講習会役員・部門員の扱いについて相談が寄せられている旨報告された。後援依頼は県病院協会を含める 5 箇所を送付すること、県に病院会が存在すれば 6 箇所になること、連絡先は菌田副会長とすることが確認された。講習会参加にかかる役員・部門員の費用については、先に実施した他県の状況を踏まえて横地専務理事に確認することとした。
- ✓ 「糖尿病予防キャンペーン」への協力依頼について（P. 32）：毎年開催され近隣の技師も協力しているが、これまでは個々に対応していたため、今後は中部支部のイベントとして組織として対応することが確認された。日臨技の基礎点の対象となり得るよう登録も促していく。西部地区の減塩プロジェクトと同様に対応することで、関係者への協力要請がシンプルになる。
- ✓ 「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」参加者について（P. 33 は別紙にて更新）：現時点で 40 名の応募がある。同じ施設からの登録については応募者多数の場合に検討することとした。
- ✓ 4 月 4 日、学術の部門長会議を開催する（三宅会長）。

- ・ 組織調査部（山口副会長：P. 34～、別紙）

- ✓ スタートアップ研修会の参加者募集：参加協力をお願いしたい。12 月会報に掲載した。
- ✓ 静臨技の記録保管に関する進捗報告：平成 14 年 4 月以降の資料の有無を確認、収集中であり、今後データ化を図る。
- ✓ 各種表彰の候補者推薦について：別紙 2-4 の推薦要領に基づき、日臨技学術奨励賞対象者が 4 名選出され、推薦者は次回理事会で決定する。事前に論文を確認すること。
- ✓ 名簿作成と回収に関する進捗報告：17 県中 8 県が名簿作成を廃止している

状況である。作成している県においても、各施設の担当者、役員のみを掲載している。役員は JAMTIS で確認可能であるが、個人では閲覧できないため、作成の必要性の有無、個人会員への郵送について引き続き検討していく。

- ✓ 連盟活動報告：別紙 4-1 のとおり、日臨技および連盟で自由民主党議員に対し要望書を提出した。静岡県は日本中で最も多い 245 名が連盟に登録している状況である。昨日、連盟に召集され、12 月 14 日の選挙に日臨技としてバックアップする政党は自民党公明党と決定した。静岡県の立候補者の中から技師会として応援したい候補者がいれば、日臨技から推薦状を提出することが可能なため山口副会長まで連絡すること。
- ✓ 求人情報（杉澤理事）：求人はホームページ上で随時情報変更している。
- ✓ ホームページ更新（加藤理事）：都築理事も担当する。
- ・ 渉外広報部（鈴木副会長：P. 35～）
 - ✓ 新年号静臨技ニュース：〆切は 12 月 15 日。
- ・ 会計部（豊田会計部長：P. 38～）
 - ✓ 10 月分の会費の納付は無かったが、11 月は日臨技登録のみの会員から静臨技への申し込みがあったため、静臨技の請求書を送付した。
 - ✓ 生涯教育推進助成金：9 月開催の研修会 2 件分の入金があった。決算書に記載する参加者数と名簿に相違があり、日臨技より指摘を受けた。実務委員、講師の数をしっかり確認し、参加登録担当者は早めに処理し連絡して欲しい。
 - ✓ 給与費については野中会計が処理をしているので問題ない。
 - ✓ 来年度予算：3 月の理事会までに完成させる。1 月までに概ねの計画立てる。学術部は 12 月中に研究班に確認をお願いする。他の部局は特別な申請が無ければ今年の実績から立案することとなる。
- ・ 事務局（伊藤事務局長：P. 41～）
 - ✓ 法案等改正に伴う意見募集について：日臨技から依頼が届いてから締め切りまでの期間が短すぎるため、事務局長名で意見を提出した。
 - ✓ 医療技術部長調査について：病院の組織形態は様々であるが、どの職場においても臨床検査技師の意見が吸い上げられるためルートや地位が必要ではないかと考える。現状を調査するためのアンケートを依頼し回収できたため、集計して報告する。
 - ✓ 災害時の被災申請：台風 18 号による被災届を日臨技に提出し受理された。日臨技では会費免除とするため、今回は静臨技でも免除することで承認された。広域災害の可能性もあるため、次回からも理事会協議とする。
 - ✓ 年賀状の発送リスト：菅野先生は逝去されたため削除し、横地専務理事（日臨技）、宮島会長（日臨技）を追加する。中部圏支部学会にご協力いただく FDA、合力さん、島田先生には今回と来年の 2 回発送することとした。

- ✓
5. 点数申請 (P. 48～)
「さくらの会食事会」「知ろう！糖尿病」について点数を承認した。
 6. 病院協会より (P. 52～)
病院学会の開催、医療安全推進研修会の後援お礼、静岡市衛生検査所精度管理専門委員会への技師派遣要請を確認した。
 7. その他
 - ✓ 臨床検査普及月間：案内を確認した。
 - ✓ 静岡県東部保健所からの質問事項：事務局長が電話にて対応してくれた、技師会としての特記すべきことなし。
 - ✓ 中医協から調査(P. 58～60)：資料添付をもって啓発とした。
 - ✓ 消費税の転嫁拒否等に関する調査：豊田会計部長が対応する。
 - ✓ ホームページ掲載事項 (P. 62～70)：今回より、すでにメールで理事に配信されているため資料は最小限とし詳細は省き、各自確認しておくこと。
 - ✓ 会員の異動：資料 (別紙) 承認された。
 - ✓ 2月、3月の予定：予定は別途会報で確認をすること。
 - ✓ 次回、常務理事会、理事会について (別紙)：議事録井川理事。常務理事会 14 時 30 分、理事会は 15 時 30 分と通常と異なるため注意すること。12 月に幹部理事会で話し合われた事項を理事会で報告する。1 月 9 日正午までに議題を提出のこと。

以上

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

議長 三宅 和秀

氏名 _____ 印

議事録署名人

鈴木雅人 菌田明広 山口浩司 渡辺時治

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印